

# 21世紀の資源循環型ごみ処理施設 「横浜市環境事業局金沢工場」

Resources Circulation Type of Incinerator Plant for the 21<sup>st</sup> Century  
“Environmental Services Bureau the City of Yokohama Kanazawa Plant”

## 1. はじめに

当社は1995年9月、「横浜市環境事業局金沢工場」を受注し、5年7ヶ月の建設工期を経て、2001年3月に竣工した。

本施設は横浜市が可燃ごみの安定焼却と資源循環型のリサイクル社会の形成をめざし、計画したもので、1200トン/日のごみ焼却能力と60トン/日の焼却灰溶融能力を有する、最新の公害防止技術と自動化技術を駆使した最新鋭の大型ごみ焼却処理施設である。本施設について以下に紹介する。

## 2. 施設の概要

### 2.1 概要

所在地：横浜市金沢区幸浦二丁目7番1

敷地面積：70000m<sup>2</sup>

工期：1995年熱、1階地上8階、延床面積/総延床面積49452m<sup>2</sup>

2

管理棟：鉄筋コンクリート造

地上3階 延床面積 約2649m<sup>2</sup>

煙突：外筒鉄筋コンクリート造 内筒鋼板製高さ130m

プラント設計施工：日本鋼管(株)

建築設計：(株)大建設計

建築工事施工：前田・東急・新井・日本鋼管工事建設共同体

### 2.2 プラント主要諸元

図1に焼却設備概要図、図2に灰溶融設備概要図を示す。

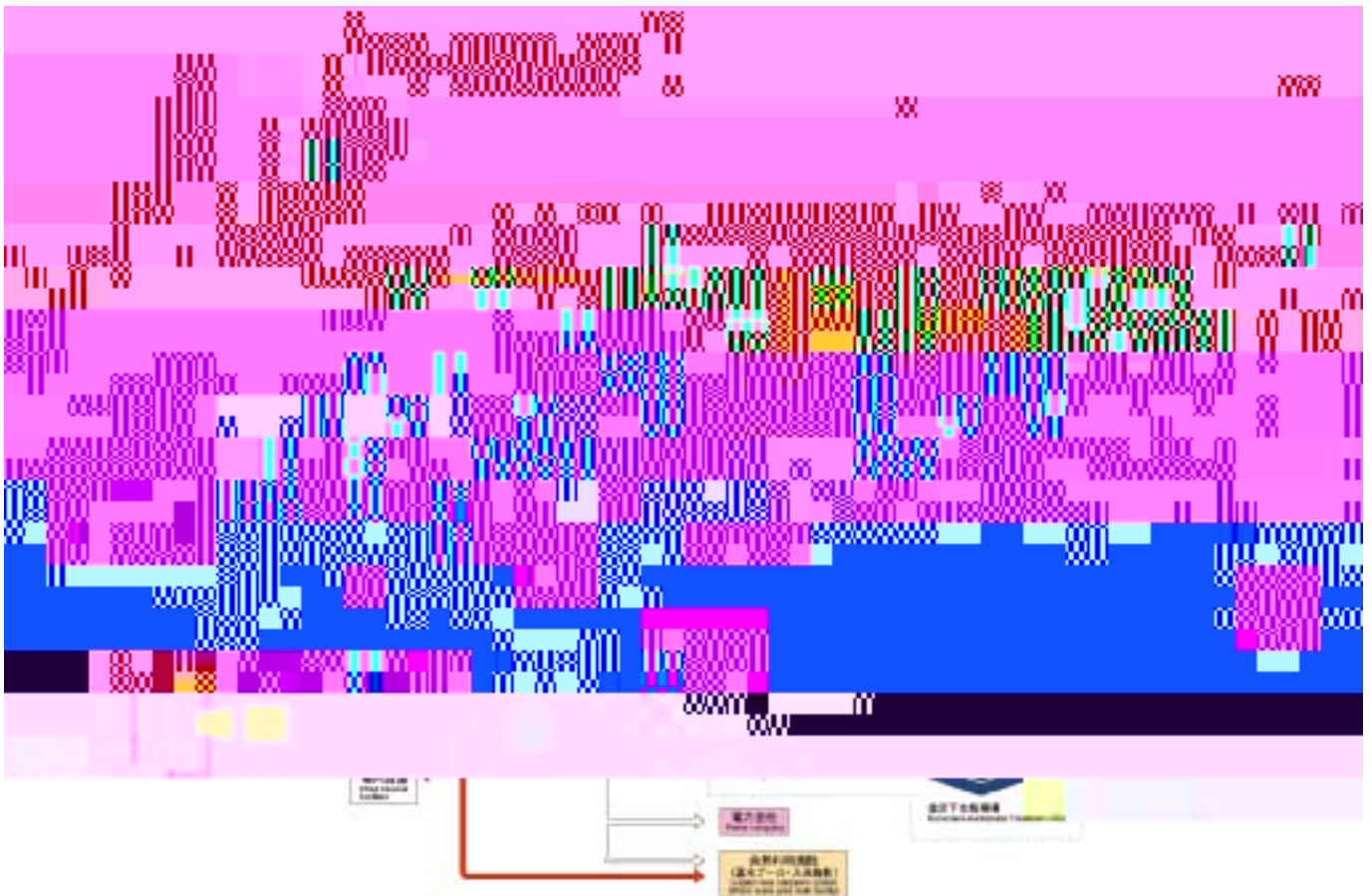


図1 焼却設備概要図

焼却炉：NKK - フェルント式 DG 型焼却炉（3 炉）

焼却炉能力 400 トン/日・炉

ボイラ：単胴自然循環式廃熱ボイラ（3 基）

エコノマイザ，過熱器付き

蒸発量 最大 68.8 トン/時

蒸気圧力 \* 温度 常用 3.92MPa \* 400

蒸気タービン：抽気復水型蒸気タービン（1 基）

発電機出力 35000kW 11kV

排ガス処理設備：脱塩装置；消石灰（乾式）および活性

炭噴射方式

集じん装置；バグフィルタ

脱硝装置；触媒脱硝方式（アンモニア

水吹き込み）

灰溶融設備：電気抵抗式溶融炉（1 基）

溶融能力 60 トン/日

スラグ成形装置付き

受変電設備：受電方式 特別高圧 2 回線

受電 築 ] 回線

